教育・学習内容の充実

（担当：教育部・教育総務課）

○英会話教育の充実　　**1,489万円**

1. 国際教育の一環として、英語を母国語とする外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、また国際社会で使える英語を習得させることを目的として、南風原中学校、南星中学校中学校にそれぞれ1名のALT（外国人英語指導助手）を配置しています。

主な経費

外国人英語指導助手報酬　　756万円

▲Julie Christian Furber先生から学ぶ生徒たち（南風原中）

2. 町では、いろいろな国を学ぶための学習のひとつとして、英語教育活動を行い、児童が英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行っています。そのために、町内にある4つの小学校に、英語に関する専門的な知識をもった4名の日本人の英語指導助手（JTE）を配置しています。

主な経費　小学校英語指導助手報酬　　720万円

3. 町内の児童生徒を対象にした、英会話教室を休校日の土曜日に、中央公民館で開いています。期間は、１年間を３期に分けて、１期当たり１５時間で簡単な英語によるコミュニケーション（会話など）の楽しさを味わせて、英語に対する興味や関心を芽生えさせています。

主な経費　臨時職賃金　　13万円

○学校教育の充実　　**1，467万円**

1. 指導主事の配置

町の教育委員会に教育の専門職員として、1名の教育指導主事を配置しています。主な仕事内容は、学校や教師がよりよい教育計画を立てて、それを効果的に実践できるよう、指導・助言・援助・激励することを目的としています。

主な経費　人件費　　975万円

2. 教育相談員の配置

町では、青少年の健全な育成のために教育の相談や、出席不良・不登校・怠学・児童虐待・いじめ・その他問題行動がある児童・生徒の相談及び指導や支援活動を行っています。

主な経費　教育相談員報酬　108万円

3. 知能テスト及び学力検査委託

知能テストは、小学校3年生を対象として行い、その結果を、児童、生徒それぞれの学力向上に役立てています。また、学力検査は、小学校、中学校の全学年を対象に行います。検査の結果を分析し、児童、生徒それぞれにあった指導計画及び教師の指導方法の工夫改善に役立てています。

主な経費　学力及び知能検査委託料　234万円

4. 学力向上対策委員会補助

町の学力向上対策委員会は、町立幼稚園、町立小、中学校、町立幼稚園PTA、町立小中学校PTA、各支部PTA、町ＰＴＡ連絡協議会で構成しています。児童・生徒の学力の向上を目的として、学校、家庭、地域がいろいろな活動に取り組んでいます。各学校の学力強化費や、12月の第2土曜日に行われる町の基礎学力実践発表会の報告書の印刷や各専門部会（学校教育部、家庭地域部会、広報部会）の活動費に割り当てられています。

主な経費　町学力向上対策委員会補助金　150万円

← 平成17年12月3日に行われた発表会で「あいさつマンのうた」をダンスで紹介する児童生徒たち

○教科書改定事業　652万円

小、中学校の教科書は、原則として4年ごとに変わることになっており、平成18年度は中学校の教科書が変ります。先生方が生徒を指導するときに使う本や授業で使う掛図なども教科書に合わせて変わるのでそれらを購入します。また、昨年に変わった小学校の教科書で平成18年度から使われる消耗品（34万円）備品（103万円）も購入します。

主な経費	教科書改訂に伴う消耗品費	59万円
	教科書改訂に伴う備品購入費	593万円

○就学奨励事業　2，665万円

経済的な理由で学校生活に支障をきたさないように、対象となる小中学校の児童生徒の保護者の方に学用品費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行っています。

主な経費	要保護準要保護児童生徒援助費	2，590万円
	特殊教育就学奨励費	75万円
	（内訳）国庫補助金	41万円
	町負担分	2，624万円

教育 学習内容の充実

担当 教育部 文化課）

○国際交流の充実事業　　**1万円**

地域住民の皆さんといっしょに、世界中のいろいろな国の人々の生活や歴史、文化を理解していくための活動を通して、たくさんの出会いの場を作るようにします。

1　海外展の開催

①展示会の開催

▲インド展

▲韓国朝鮮展

②講演会の開催

展示会に関係する国についての、さまざまなテーマで講演会を開催し、より理解を深めます。

③交流会の開催

伝統舞踊や音楽を楽しみながら、料理を囲み、県内在住の展示会開催国の皆さんと交流をします。ちょっとした料理や踊りを習得できるかも！

▲インドネシア交流会の様子

▲インドネシア料理を楽しむ

2　地球の運動会

黄金森公園陸上競技場地域の皆さんと外国の人たちが、ゲームやスポーツを通して交流し、楽しい時間をすごします。いっしょに汗をかき、チームワークを保ちながら友情の輪を広げます。案外みんな真剣に競争しています。

▲ゲームを通して新しい友人捜し！

▲毎年一番白熱する「五色綱引き」

＊平成１７年度はあいにくの雨。でも、室内ゲームで盛り上がり！

▲何がそんなに楽しいの？インドネシア漁業研修生たち(H16)

▲あいさつで熱弁を振るったソマリアの研修生(H16)

3　国際ウォークラリー（南風原で世界一周）

町内の文化財や史跡を巡りながら、各ポイントに設置されたいくつかの国のブースを訪ね、クイズに答えていきます。時には世界のおいしい食べ物やプレゼントもあるよ！

▲町民も外国人も子連れで参加・国際ウォークラリー（本部のイジュンガー公園）

▲国際ウォークラリー・アメリカブース

▲第 2回国際ウォークラリーは雨のため室内で実施。でも世界のおいしい料理をいただくことができました！

教育体制の充実

担当 教育部 教育総務課）

○ 心の教室相談員」配置活用事業　　127万円

生徒の心の悩みや不安などをじっくり聞き、その問題解決にあたるため、南風原町教育相談支援センター 心の教室）を設置しています。

不登校や最近多くなっている児童虐待など児童・生徒をとりまく問題について、町が任命した2名の 心の相談員」が教育相談員と協力して、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校や児童虐待など問題解決のために速やかに対応します。

主な経費

心の教室相談員報酬	115万円
電話代ほか	12万円

ご相談はこちらまで　南風原町教育相談支援センター

場　　所　　黄金森運動公園陸上競技場内
電話番号　　888－6556

※　お気軽にご相談ください。

教育相談員・心の教室相談員を紹介します

教育相談員
金 城 秀 雄 先 生

心の教室相談員
仲 里 誠 徳 先 生

心の教室相談員
大 城 賢 二 先 生

※教育相談員の説明は本書の127ページに掲載しています。）

教育・学習環境の整備

（担当：教育部　教育総務課）

○学校施設等整備職員配置事業　468万円

南風原町内の学校（4小学校、4幼稚園、2中学校）を定期的に回り、学校施設の修繕や、簡単な棚の製作などを行い、学校教育施設の充実を図るために配置しています。

主な経費　学校大工嘱託職員報酬（1名）　283万円
　　臨時職員賃金（1名）　160万円
　　車使用謝礼金　25万円

○学校プール管理人配置事業（小学校）　86万円

学校にあるプールは各学校で管理していますが、小学校では授業中の児童の安全対策とプールの毎日の維持管理強化のため、プール利用期間中に各小学校に1人づつプール管理人を配置しています。

主な経費
　学校プール管理人委託料　86万円

プールで元気に泳ぐ子どもたち →

○私立幼稚園就園奨励事業　500万円

この補助金は、家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の保護者負担の格差を直すために、町が4歳児と5歳児の幼稚園児の入園料や保育料に対して補助する事業です。その経費の一部は国からの補助金でまかなっています。補助額は1人当たり年間平均83，300円で、4歳児25名、5歳児35名、合計60名に補助しています。

主な経費　私立幼稚園就園奨励補助金　500万円
　　（内訳）　国庫補助金　110万円
　　町負担分　390万円

○ヘルパー設置事業　1，542万円

現在、町内の小中学校には肢体不自由や多動性などの障害を持った児童生徒が幼稚園5人（うち3人は預かり保育も実施）、小学校8人、中学校1人の合計14人通学しています。障害児一人ひとりの教育を補償し、自立して生きていくことのできる力を育むことが重要となっています。

障害児が安全な学校生活が送れるよう支援するために、ヘルパーを派遣し始業時から下校時までの時間、学校生活を支援しています。平成18年度は、幼稚園に5人、預かり保育に3人、小学校に8人、中学校に1人のヘルパーを派遣します。

主な経費　ヘルパー賃金　1，542万円
　　（内　訳）　小学校　892万円
　　中学校　123万円
　　幼稚園　527万円

○学校警備員配置事業　1，211万円

町内の各小中学校の運動場や体育館を、原則として午後8時から10時の間、草野球チームやサッカー、バレーボールなどのスポーツを楽しむ一般の方に開放しています。

町内小中学校6校の午後5時以降の警備と学校解放指導を行う警備員を各学校に配置しています。開放施設管理と使用団体などの安全確保と夜間の学校の安全を守ります。

主な経費　常駐警備・学校開放管理指導員委託料　1，211万円

○預かり保育事業　867万円

預かり保育は、近年増え続ける核家族や共働き家庭の保護者の要請などにより、町立幼稚園4園の午前保育終了後から午後6時30分までの間、引き続き保育を行うものです。預かり保育は町立幼稚園4園で、幼稚園教諭1人と賃金職員1人の各園2人対制で行っています。

主な経費　幼稚園教諭臨時職員賃金　867万円

○南風原中学校校舎危険改築事業　5億7，530万円

平成17年度、18年度の2年で老朽校舎を改築整備する事業です。教室棟、管理棟の天井などからコンクリートの落下が確認されました。北側教室棟と管理棟の校舎を解体撤去して校舎の立替え工事を行います。

平成18年度の主な経費　総事業費　5億7，530万円
校舎改築等工事　5億6，747万円
設計監理等委託料　783万円

校舎危険改築事業は、国の補助を受けて行われます。

国の補助金　4億3，000万円
一般財源　1，040万円
町債（町の借金）　1億3，310万円
合　計　5億7，530万円

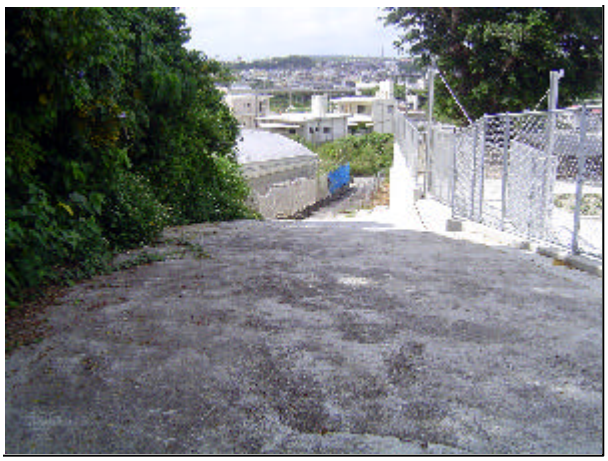
▲運動場に仮設校舎を建設した現在の南中

▲完成予想図

○津嘉山小学校周辺里道整備事業　　1,522万円

現在、登校時・授業・放課後に児童生徒が校舎から運動場に移動する際、校内の自動車が通交する道を同じように利用する機会が多く、好ましくない状況となっています。本事業により、津嘉山小学校体育館裏側にある里道を、学校の先生方、来客者の自動車が利用する専用の道路として整備します。児童生徒と自動車とが別の道を使用することを図り、良好な教育環境を確保します。（延長41m、幅員4m）

主な経費	測量設計委託業料	210万円
	整備工事費	607万円
	用地購入費	675万円
	用地鑑定料	30万円



▲ 整備前の津嘉山小学校周辺里道のようす（左は北側から、右は南側から見たようす）

○図書館システム整備事業　　131万円

これまで、町内の4つの小学校図書室では、本の貸し出し手続きは手作業で行われていました。この手続きをコンピュータで管理・運営することにより、いままで児童・生徒に負担の大きかった図書の貸し出しがスムーズになります。

また、本がどこに置いてあるかなど、管理も効率的に行われ、図書に関する資料作成などいろいろな要求にも対応できるようになったため、図書の貸し出し冊数も増えています。

主な経費　　図書館システム年間使用料　　131万円

リース期間　　5年リース（平成16年度～平成20年度）

学校給食の充実

担当 教育部 学校給食共同調理場）

○学校給食用材料費　1億7，791万円

児童・生徒の一人当たりにかかっている給食の材料費は、小学生で一食当たり約210円、中学生で約240円です。徴収している給食費は小学生とその先生は3，800円の11ヶ月分です。中学生とその先生は4，300円の11ヶ月分です。給食センターの調理員、事務職員、栄養士は4，300円の11ヶ月を納めています。その合計額は約1億7，791万円となっています。

学校給食共同調理場では、今後とも、総合的な安全管理を基本に、常に安全でおいしい給食の提供に努めていきます。また、地産地消の取り組みとして、町の特産である「カボチャ」「ヘチマ」「ゴーヤー」を使った給食を提供出来るよう関係機関と連携していきます。

○共同調理場施設委託費　410万円

安全でおいしい給食を作るために、学校給食調理場の施設は清潔で、いつでも機械が運転できるようにしておかなければなりません。そのため、人の体に悪影響を与える細菌がいないか定期的に検査したり、ねずみやゴキブリなどの害虫を施設内に入れないような処置を専門の業者に委託しています。また、調理に使うボイラー（湯沸かし釜）の点検、換気扇の清掃など、他にも調理をするうえで必要な施設や機械類がきちんと動くように専門の業者に委託しています。

主な経費

微生物検査委託料	79万円
野そ等防除委託料	45万円
ボイラー保守点検委託料	50万円
ごみ処理委託料	44万円
浄化槽管理委託料	37万円
ルーフファン（換気扇）等清掃委託料	32万円
他、施設の運営に関する委託料	123万円

▲字宮城にある町学校給食共同調理場

○給食調理器の修繕などの整備費　2，561万円

児童・生徒の皆さんからの給食費は、給食の材料費としてすべて使っています。給食を作るためには調理場の電気代、水道料金、ガス代、食器を洗う洗剤、機械が壊れた時のための修繕費などの経費が必要です。それ以外にも、「給食だより」の印刷代や皆さんが残した残飯の処理代金などにもお金を支出しています。

主な経費	ボイラー用燃料代	462万円
	光熱水費	673万円
	廃油処理、残飯処理手数料など	172万円
	機械などの修理代	343万円
	消耗品代など	1，211万円

学校給食共同調理場にはこんな機械があります

お膳等洗浄機　：お膳などを高圧のジェット噴射で洗浄します。
食缶類洗浄機　：2本のレーンで、高さの異なる食缶などを超高圧で洗浄します。
食器類洗浄機　：食器の洗浄、整理まで自動処理します。スプーンなども自動洗浄します。
消毒保管庫　：食器や食缶の消毒効果を高めるため、蒸気で温熱殺菌した後、保管します。
ライスボイラー　：1台で1，000名の給食を調理することができます。
自動フライヤー　：揚げ物によって、油温を調節し、美味しく調理することができます。
自動ロースター　：側面の燃焼室で加熱した熱風で、材料を美味しくローストにします。

学校が夏休みのとき、共同調理場はどうしてるの？

学校が夏休みなどで給食を作らない日は、調理員は調理場内の機械類を分解し、整備や清掃を行います。また、おいしい給食を作るために、いろいろな研修をおこなって技術をみがいています。

月に1回は、事務職員も含めて共同調理場職員全員で給食費を納め忘れた家庭へ出向き、徴収業務を行っています。また、給食費の納め忘れのないように、広報車で町内を回りお知らせしています。

全国学校給食週間

毎年、1月24日から1週間は「全国学校給食週間」となっています。町では、期間中に町長や教育長、町の教育委員の皆さんが町内の小学校で、児童・生徒のみなさんが日頃どんな給食を食べているのか、実際に試食しています。

子ども達と給食を楽しむ神里教育委員長→

生涯学習振興体制の確立

担当（教育部 生涯学習振興課）

○社会教育研修会事業　45万円

町内各支部の老人会、女性会、青年会や子ども会など社会教育団体のリーダーの皆さんを対象に、毎年一度、研修を行っています。これらの研修は、参加する各団体の皆さんで、研修の内容などの計画を立てて行っています。研修で、活動の目的や方法などを学んだり、情報交換をすることで、それぞれの支部の活動を活性化する原動力となっています。

主な経費

高齢者リーダー研修	8万円
女性リーダー研修	8万円
青年リーダー研修	8万円
子ども会インリーダー研修	8万円
子ども会育成者国内研修	8万円
島尻地区ＰＴＡ指導者研修	5万円

▲子ども会リーダー研修の様子

○社会教育補助金及び負担金　719万円

1　団体補助金

社会教育団体などの活動の活性化や支援、育成のため、下記のとおり負担金を支出しています。

主な経費

（内訳）	町女性連合会	117万円	町 PTA連絡協議会	213万円
	町青年連合会	90万円	町青少年健全育成協議会	45万円
	町子ども会育成連絡協議会	45万円	町ジュニアリーダークラブ	8万円

2　学級開設補助金

①高齢者学級　85万円

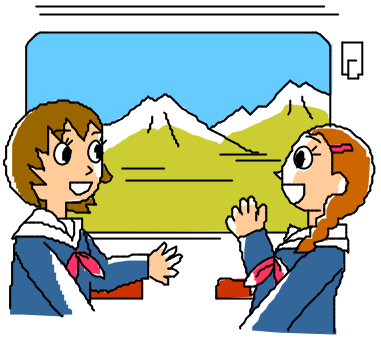
各字、自治会の老人クラブへの補助金です。健康づくりや余暇を有意義に過ごすための趣味や教養に関する講演会や学習会などを開催しています。地域での若い世代との交流やボランティア活動なども行っています。（平成17年度は12団体へ補助金を支出しました）

②家庭教育学級　39万円

各小・中学校ＰＴＡの文化教養委員が中心となり、家庭教育に関する学習会や親子のふれあい事業を開催しています。毎年、小中6校合同の「教育講演会」も開催しています。

3　島尻少年の翼」負担金　　67万円

島尻地区13市町村から推薦された小学生88人、中学生（副班長）16人、高校生（班長）16人が夏休み期間に4泊5日の日程で、福岡県と山口県を訪問し、自然・文化・産業などの見学・体験活動を通し見聞を広めます。また、共同生活を行うことで協調性をつちかうことを目的としています。（本町割り当て人数：小学生11人、中学生2人、高校生2人）



4　町少年少女合唱団事業　　10万円

「南風原町少年少女合唱団」は公民館活動の一環として発足し、今年は20周年の節目を迎えます。町立中央公民館を中心に活動し、沖縄県少年少女合唱連盟主催の合唱際に参加するなど、その活動はとどまるにとを知りません。平成18年5月9日には、友好都市であるカナダのレスブリッジ市を訪れ、市制100周年記念式典で沖縄のわらべうたなど4曲を披露しました。現在、小学校1年生から高校生まで約40名で楽しく活動をしています。今後、ますます活躍が期待されています。

▲友好都市レスブリッジ市で歌を披露する少年少女合唱団

生涯学習活動の充実

（担当 教育部 生涯学習振興課）

○社会教育指導員の配置事業　108万円

専門的知識を持った社会教育指導員が、老人クラブ、女性会、青年会、子ども会などの各種社会教育団体の団体活動をより充実・活性化したものにするために、学習相談及び育成援助を行います。社会教育指導員は原則として、月・水・金の週3日、午前8時30分～午後5時15分まで生涯学習振興課で勤務しています。

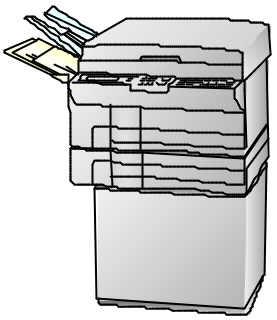
主な経費

社会教育指導員（1名）の報酬	108万円

○公民館活動の充実事業　1，549万円

1　公民館運営事業

町民の生きがいづくりや趣味の場、サークル活動の場、各種発表会の場として町立中央公民館は多くの町民の憩いの場となっております。中央公民館には、ホールの他に、料理講習会ができる調理室、研修室、図書室、視聴覚室などがあります。



主な経費

公民館長報酬	130万円
清掃臨時職員賃金	147万円
宿日直委託料	169万円
公民館の光熱水費	508万円
他、コピー機使用料など事務経費	342万円

2　公民館教材・施設の整備事業

町立中央公民館は公民館講座やサークル活動の他にも、講演会や舞台発表などいろいろな目的でつかわれています。その公民館を利用者の皆さんに気持ちよく使っていただけるよう、使いやすくきれいな公民館を目指し、整備を行っています。

主な経費

清掃用具などの消耗品費	50万円
修繕費	30万円

3　公民館講座事業

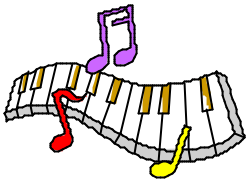
町立中央公民館では、公民館講座を開催しています。児童・生徒の夏休み期間中は親子で参加できる講座を開催したり、各字公民館での出前講座も行い、子ども達からお年寄りまで幅広い年齢層に対応できるよう毎年、趣向をこらして開催計画をたてています。今年度は14講座の開催を予定しています。

町広報紙や町のホームページ、平成18年度公民館学級講座のパンフレットをご覧になり、お気軽にお申し込みください。また、毎年2月には「公民館まつり」を行い、講座受講者や公民館サークル会員が日頃の練　習の成果を発表しています。

主な経費

公民館講座講師謝礼金	96万円
公民館講座案内等印刷費	15万円

♪平成18年度の公民館講座紹介♪
パソコン入門（昼間）、パソコン入門（夜間）、三線、かすり太鼓、
少年少女コーラス、生花、夏休み絵画、家庭料理、お父さん料理、
文化財・史跡めぐり（町内）、家庭園芸、袋物工芸、夏休み親子折り紙、
夏休み陶芸教室



4　ブックスタート事業

絵本を介して親子の触れ合いを高め、親がゆとりを持って安心して子育てができるよう乳幼児検診に参加した全ての赤ちゃんと保護者を対象に、絵本、子育てアドバイス集等をブックスタート推進員が直接手渡し読み聞かせを行い、赤ちゃんの心が豊かに育つことを支援する。

主な経費

謝礼金	18万円
絵本購入費等	44万円

ブックスタート推進員からお母さんと赤ちゃんへ絵本が手渡されます。→

○各種スポーツ教室　　1，138万円

1　スポーツ振興事業

生涯スポーツ活動として、各スポーツ教室を通してその楽しさ楽しみ方及び仲間づくり、または安全に対する正しい知識を養うためスポーツ教室を行います。この他にも、南風原町体育協会を運営するための補助金や、町スポーツ少年団への補助金など、スポーツ活動を推進するため各種スポーツ団体やスポーツ活動への補助金を支出しています。

主な経費

スポーツ教室（水泳教室、アイススケート教室、ウォーキング教室）	47万円
南風原町体育協会補助金	765万円
南風原町スポーツ少年団補助金	49万円
南部トリムマラソン運営費負担金	23万円
町長杯（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、ｻｯｶｰ、ｱｲｽﾎｯｹｰ等）各大会	15万円（各3万円）
その他の経費	111万円

２　スポーツ活動推進事業

子どもから高齢者までが参加できるスポーツ大会を開催し、スポーツを通じて健康維持、体力増進を図り、地域でのスポーツ活動の普及促進も図ります。

予定されているスポーツ大会

高齢者スポーツ大会、小中学生かすり駅伝大会、新春マラソン大会

30・40代ソフトボール、50代グランドゴルフ大会、女性スポーツ大会

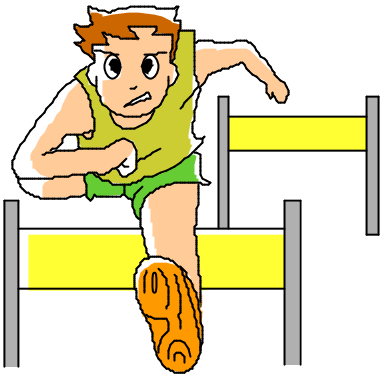
主な経費

各種スポーツ大会への商品代等　115万円

３　小・中学校対抗陸上競技大会

黄金森公園陸上競技場がオープンした平成13年から、町内小・中学校対抗陸上競技大会が開催され、今年は第6回目の大会が行われます。町内4小学校と2中学校の児童生徒の交流、親睦はもとより、南風原町民であるという連帯感を育てます。また、児童生徒一人ひとりの競技力と基礎体力の向上と健全育成を目的に開催しています。大会当日は、多くの町民の皆さまの応援をお願い致します。

主な経費　役員弁当代など　10万円



～ 第6回南風原町小・中学生陸上競技大会 ～

日　時・・・平成18年9月9日（土）

午前8時30分～

会　場・・・黄金森公園陸上競技場

４　各種レクレーション事業

子どもから高齢者までが参加できるレクレーションを提供し、レクレーションの普及として町民スポーツカーニバルを開催します。

主な経費　事務用品等　3万円

スポーツカーニバルの開会式で
準備体操をする児童生徒たち→

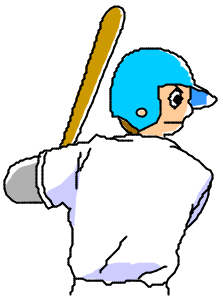
○町陸上競技場等管理運営事業　　1，635万円

黄金森陸上競技場、野球場と花・水・緑の大回廊公園で、町民が施設を利用しやすいように嘱託員を配置します。また、陸上競技場のフィールド内の芝生や野球場の外野の芝生の維持管理を専門の業者に委託し、利用者が安全で快適にスポーツを楽しめる施設の管理運営を行います。

山川体育センターは、字山川区へ指定管理者として指定をして、健全な運営を行います。

1　黄金森陸上競技場・野球場

主な経費	嘱託員 3名（交代制）	325万円
芝管理委託料		100万円
他、電気料など		718万円



2　花・水・緑の大回廊公園

主な経費	嘱託員 2名（交代制）	175万円
他、電気料など		217万円

◆黄金森陸上競技場、野球場、花・水緑の大回廊公園をご利用になりたい方は生涯学習振興課（TEL 889－6181）までお問い合わせください。

☆黄金森陸上競技場、野球場（毎週月曜日休み、ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は、その翌日を休場日）開場時間…午前 9時～午後 10時まで

☆花・水・緑の大回廊公園（毎週月曜日休み、ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は、その翌日を休場日）

平日…午後 1時～午後 9時まで／土日祝祭日…午前 9時～午後 9時まで

3　山川体育センター

主な経費	字山川への指定管理料	46万円
他、電気料やトイレットペーパーなど		54万円

☆山川体育センターをご利用になりたい方は、山川集落センター（TEL 889－4429）へお問い合わせ下さい。

生涯学習施設の整備

（担当：教育部　生涯学習振興課）

○図書の整備充実事業　　434万円

町立中央公民館の図書室は小さいスペースではありますが、幼児から大人まで幅広い要求に応えられるよう図書の整備を行っています。町内にお住まいの方はもちろんのこと、町外の方で町内にお勤めの方もご利用になれます。月刊誌から話題の新刊図書、沖縄関連の図書など取りそろえていますので、ぜひご利用ください。

なお、広報はえばるに毎月掲載している「図書室だより」のコーナーで、新刊図書情報を掲載していますので、こちらも合わせてご覧下さい。

主な経費

図書館司書の賃金	328万円
月刊誌、図書などの購入費等	106万円

ご存じですか？「図書室だより」

広報はえばるに毎月「図書室だより」を掲載しています。「図書室だより」では児童図書・絵本、一般図書の新着図書紹介などをしています。「図書室だより」をチェックして、お気軽に図書室へお越しください。なお、図書室は毎週火曜日が休室日となっております。

文化財の保護・継承

（担当：教育部　文化課）

○子ども平和学習交流事業　　72万円

町内の小学校6年生を対象に、戦争や平和、差別や人権についての学習を深めるための事業です。主に、本研修の旅費や宿泊費などの経費に使われます。

1　事前研修

①学習会

南風原の戦争の実態、沖縄戦やアジアの戦争について、ビデオや文献、体験者のお話を聞いたりして勉強します。また広島の原爆についてや、ハンセン病についてなど数回にわたって学習します。

▲一生懸命学習中

②巡検

南部戦跡めぐりや基地めぐりに出かけます。

③宿泊学習

名護市の屋我地にある「愛楽園」を訪ね、療養している方からハンセン病の話、差別について話など、体験を通して学習します。そこでは1泊をし交流を深めます。

④学習したことは、グループで協力してまとめ、お父さんお母さん、役場の皆さん、先生方に報告発表します。

▲愛楽園を散策

▲学習したことを報告

2　本研修

3泊～4泊の日程で、広島を訪ね原爆の実態を勉強したり、大阪人権博物館（リバティおおさか）、国立民族学博物館（みんぱく）などの施設を訪ねて、学習を深めます。また、岡山県の国立療養所を訪ねたり、長野県松代大本営壕を見学し、私たちの南風原の壕と比較しながら、勉強します。

▲広島平和記念公園で、三線を弾く

▲広島袋町小学校資料館見学

■アイヌ古式舞踊公演

○町史発刊事業　**278万円**

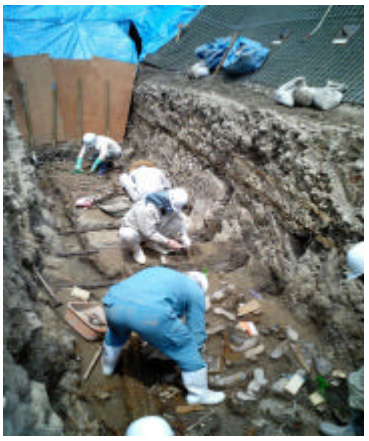
町内の自然・歴史・文化などは、私たちの先人達が守り継ぎ、発展させてきたものです。これら現在に継承されてきたものや遺されてきたものを調査して記録に残していく作業が町史発刊事業です。平成5年度当初は、13年間でテーマごとに25冊の本を発刊する計画でしたが、その後、見直しを重ねながら、平成17年度現在で14冊を発刊しました。

○開発調整に伴う発掘調査事業　**30万円**

現在、町内には52ヵ所の遺跡や遺跡の可能性がある場所が確認されています。これらの場所を周知の遺跡といっています。周知の遺跡地内やそこに隣接する場所で、住宅建築や道路建設などの開発を行う場合には、事前に遺跡の有無の確認調査を行う必要が文化財保護法で義務づけられています。確認調査の結果、遺跡が確認された場合には、現地保存ができないかなど設計の見直し調整を行います。しかし、どうしても設計変更等が無理な場合には、記録保存ということで、発掘調査を行うことになります。

主な経費　重機使用料　30万円

▲津嘉山区画整理地内の壕



▲チカシモウの第３２軍司令部壕跡

○伝統芸能復活助成金　15万円

宮平に伝わるガク（哨吶）という楽器を使った伝統芸能の復活します。曲目の採譜、楽器の購入、後継者育成のための準備をします。

○南風原陸軍病院壕保存活用整備事業　130万円

南風原町は、1990（平成2）年に太平洋戦争（沖縄戦）時の“負の遺産”である「南風原陸軍病院壕群」を全国に先駆けて町の文化財（史跡）に指定しました。戦争体験者が減少していく中、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していくことがその大きな目的でした。

壕群は、黄金森という小高い丘にあり、縦横2m、長さ10から70mの横穴壕が30数本あったといわれています。ここは戦争で傷ついた兵士達の手当てをするための病院でした。壕の天井や壁には、ツルハシやクワによる掘削痕や、火炎放射器で焼かれたと思われる黒く焦げた跡が残り、床と壁には壕の落盤を防ぐための支柱をはめ込む穴や焼け焦げた支柱が残されるなど、60年前の沖縄戦の様子が今でも記憶されています。

現在では、ほとんどの壕が落盤等によって原形をとどめていないにもかかわらず、全国各地から平和学習のために多くの方々が壕を訪れます。町では、それらの方々を案内する際に、現存する「飯上げの道」を実際に歩き、当時ひめゆり学徒隊の女学生達が近くの集落内に設置された炊事場から各壕に食事を配るために往き来したことを追体験できるようにするなど、遺跡の活用について様々な試みを行っています。

黄金森には、戦争遺跡以外にも多くの自然や地域の拝所、民俗的な伝承、墓地群などが残されています。今後は、これらの貴重な遺産とともに、比較的保存状態の良い20号壕と24号壕という二つの壕について、大切な文化財としての保存を目的とした整備を行って、公開していく予定です。壕に入り、そこに刻まれた戦争の痕跡をたどりながら、暗闇や空気を感じる体験を通して、戦争の悲惨さや愚かさ、過去のあやまちを再び繰り返してはいけないという反省とともに、平和について考え、平和を創り出すことの大切さを学ぶことができる場として整備していきます。

芸術・文化活動の推進

担当：教育部　生涯学習振興課）

○かすり太鼓事業　　5万円

南風原かすり太鼓」は、公民館活動の一環としてスタートし、今年で15年目を迎えます。大人も子ども一緒になって、毎週火曜日に町立中央公民館で楽しく練習をしています。まで幅広い年齢層で活動しています。南風原町の新年宴会の幕開けやふるさと博覧会で演舞を披露するなど、町内のイベントで幅広い活動を展開しています。また、生涯学習や後継者育成を目的に、公民館で講座も行っています。

主な経費

南風原かすり太鼓補助金　　5万円

公民館まつりで勇壮な演舞を披露する →
南風原かすり太鼓」の皆さん

担当：教育部　文化課）

○南風原町文化協会補助金　　150万円

町内には芸能・絵画・書道・空手・織物など、いろいろなジャンルで文化活動をしている方々がいらっしゃいます。それらの活動をより広く、深く活発にしていくために、南風原町文化協会が設立されました。町文化協会は平成18年度で6年目を迎え、ふるさと博覧会をはじめ、チャリティ芸能公演など町内の様々なイベントに出演するだけでなく、文化センターや役場ロビーで展示会なども行っています。平成17年9月には「第1回総合文化祭」が開催され、文化協会の各部及び町内の芸能・文化活動にたずさわっている児童から大人までが参加しました。展示部門、舞台部門ともに盛り上がりをみせました。今後も文化協会の積極的な活動を支援します。

※写真は「第１回総合文化祭」の様子です。

施設の整備

担当 教育部 文化課）

○文化センター移転事業　**4億1，184万円**

文化センター前、町道街路事業に伴い、南風原文化センターは移転することになりました。

平成18年度には、これまで話し合ってきた基本設計や理念を元に、実施設計をし、建設、移転作業を進めていきます。ただし、この事業は新設された「まちづくり交付金」を活用する予定になっており、実施の時期が先送りになる可能性があります。

新文化センターの開館は平成20年度を予定しています。そのために、現在の文化センターの資料のデータ化、新文化センター建設に必要な情報を集めるため、建設準備室に嘱託員1人を配置します。今年度は17年間蓄積されてきた文化センターの収蔵資料の登録、整理を進め移転準備をします。それらの資料は新しい文化センターで保存・活用しやすいように、整理していきます。

主な経費

文化センター管理委託料	1，000万円
文化センター建設工事費	4億円
文化センター準備室経費	184万円

▲ 現在の文化センターの外観と中の展示室のようす

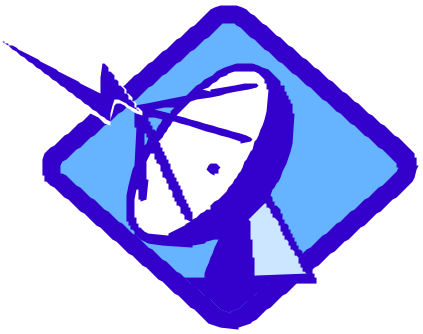
コミュニティ施設の整備・拡充

担当：総務部（総務課）

○南風原町放送施設設置補助金　　43万円

役場や各字自治会では、公民館や集会所からのマイク放送で、役場での各種手続きの日時や地域行事のお知らせなどを行っています。地域の住民の皆さんに関わる情報を正確に伝達する必要があります。各字自治会が放送施設を設置するときや、修理が必要な場合に補助金を支出しています。

主な経費　　放送施設設置補助金　　43万円



○区長・自治会長事務委託事業　　3,543万円

町内には１９の区・自治会があります。皆さんご存じのように、各字の公民館や自治会集会所があり、区長さんや自治会長さんがいて地域のまとめ役を担っています。

各地域によって多少、仕事の内容は違うかもしれませんが、地域住民の皆さんへ、マイク放送で各地域や役場からの情報をお知らせしたり、綱引きや盆踊りなどの地域の行事のとりまとめをしたり、子ども達の交通安全や登下校時のパトロールなど地域や役場と一緒に行っています。

その区長さん、自治会長さんと、広報はえばるなど役場から各家庭に配るお知らせなどの配布に関すること、税金・農業・経済・商工・選挙に関することなど２４項目にわたって契約をして、町の仕事を手伝っていただいています。役場の情報が町民の皆さん一人ひとりに行きわたるように毎月２回は、役場で区長さん、自治会長さんの会議を開いています。

交流推進体制確立

担当：教育部（生涯学習振興課）

南風原町育英会事業　　450万円

１　国際交流事業（育英会）

町内の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地のミドルスクール（中学校）体験入学やホームステイを行っています。この事業では、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの友情を深め、国際時代に柔軟に対応できる青少年を育てることを目的としています。

この事業は平成5年度からスタートし、訪問先はアメリカ合衆国ハワイ州と町の友好都市であるカナダ国レスブリッジ市で交互に行っています。今年はアメリカ合衆国ハワイ州へ８名の中高校生を派遣します。

主な経費

国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金　　250万円

▲カナダの雪山をバックに

２　青少年県外派遣事業

南風原町の文化・スポーツの振興発展及び青少年の健全育成の一環として、本町に在住する保護者の児童・生徒等が沖縄県を代表して、体育的行事及び文化的活動に参加するために県外等に派遣される場合に要する経費に対し、助成金を交付しています。

主な経費

航空運賃・宿泊料等助成金　　200万円